

ぽすくら

おさんぽすくらっぽ on ペーぱー Vol.06

編集発行人：やわらのぞみ

2013/10/21 発行

TwitterID:sampoya

ぽすくらこと、おさんぽすくらっぽ on ペーぱーは、やわらのぞみが、毎回ワンテーマを語りただけ語る勝手フリペです。

テーマ：御朱印入門

地味にブームだと言われている御朱印。どうやってスタートしてよいかわかんない。ハイビーちゃんに優しく教えてあげよう！（キャラじゃない）

◆ お寺・神社共通 ◆

まずは御朱印帳を準備しましょう。最初の神社仏閣が大きなのところならば、そこでも売っていますし、文房具店などでも扱っていたりします。最近では専用のネットショップなどもあるって、可愛いデザインのものもたくさんあります。

◆ お寺編 ◆

御朱印とは、本来は写経を納めたり、般若心経を読経した証としていただくものです。ですので、お参りすることが大事。ただ、場所によっては最初に預けてお参りしている間に書いていただいたりするところもあります。

ちなみに書かれる墨書きはご本尊のお名前です。なので、複数のご本尊がある場合、それごとに御朱印があったりします。

◆ 神社編 ◆

基本的にはお寺と一緒にです。私は広いところでは最初に預けてお願いすることが多いです。小さい神社ならお参りしてからお願いしたりしています。

初穂料は300円のところが多いです。何も言われなければ300円。そうじゃない場合は向こうからいくらですとおっしゃいます。

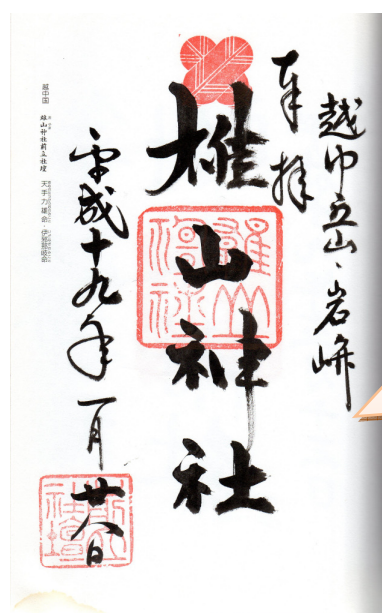


これは、坂東三十三箇所の二十四番札所雨引山樂法寺の御朱印。美しい。

私は、札所用とそれ以外用で御朱印帳を分けています。

札所用は専用の御朱印帳がある場合もあります。その場合はこのように書いていただくページが決まっています。

回る順番は必ずしも番号通りじゃなくても大丈夫ですが、一番と最後だけは順番通りのほうが何かとよいことがあります（発願印と結願印がいただける）。



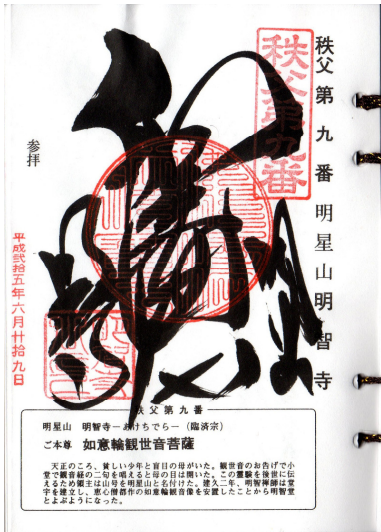
こちらは富山の雄山神社。奥の宮が立山山頂にあることで知られています。これは前立社殿という麓にあるお社でいただいたもの。

いつかは山頂。

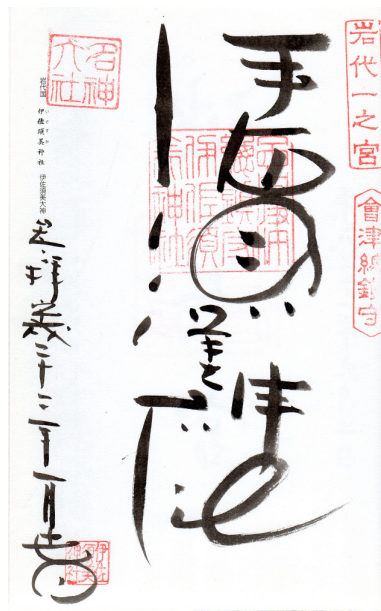
◆ 伊勢神宮の話 ◆

通称お伊勢さんは、本来の名称を「神宮」といいます。すべての神社の頂点に存在しているのでそういう名前なんですね。御朱印も墨書きが無く、印だけのシンプルなものです。

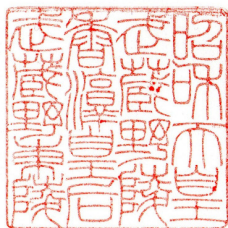
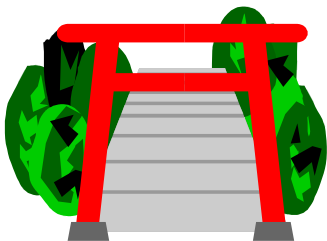
私がめぐっている、全国一の宮めぐりの御朱印帳には、伊勢神宮はありません。その代わりに一番最初のページが2ページ分あいています。そこにいただくんだよ、と教えてくださったのはどこの神社だったでしょうか。



達筆というよりは、図像化されていて絵と文字の間みたいになっていることもあります。力強さを感じます。ええ、感じればいいんだと思います。秩父九番明星山明智寺です。



神社でもこんなふうに読めないところもあります。こはちょっと独特な神社で、御朱印も1,000円です。ただし、お神酒がついてきますし、この御朱印見たら、まあ、そんなものかなって思えちゃうところが不思議。会津美里町の伊佐須美神社です。



これはまた意味合いが違うかなとは思いますが、「天皇陵印」です。歴代の天皇の陵墓にある印で、全国5箇所分散して置かれています。東京だと高尾の多摩御陵に2つあります。セルフで何にでも押印することができますが、御朱印帳を用意して押印するのがよいかと思います。

私が今持つ御朱印帳は、西国三十三箇所、坂東三十三箇所、秩父三十四箇所、四国八十八箇所、全国一の宮巡礼と、お寺用と神社用です。御朱印に関する本はここ数年でたくさん出版されました。そのどれもに「記念スタンプではありません」と書かれています。お話しもっともとはいえ記念スタンプコレクターでもある私は、「記念スタンプも御朱印のように大事に扱えよ」というスタンスで行きたいなと思います。べいびー。